

平成26年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科として数多くの社会との接点を取りながら、豊かな心を持ち、自らの生き方を考えて各自の「夢」の実現に向けてチャレンジする主体的な生徒を育てるとともに、希望する多様な進路を実現できる確かな学力が身につく「進学重視の総合学科」をめざす。

- 1 多様な進路を支える教育活動を展開する
- 2 とともに学び、ともに育つ心を培う教育活動を展開する
- 3 自ら行動する人をはぐくむ教育活動を展開する

2 中期的目標

- 1 確かな学力の育成
 - (1) 授業の充実（「新学習指導要領」を踏まえ、「授業内容に興味・関心をもつことができる授業」「授業を受けて、知識や技能が身についたと感じる授業」を行う）
 - ア 公開授業や授業アンケートを効果的に活用するとともに、教員における授業研究協議を行い授業改善に取り組む。
 - ※生徒の「総合学科アンケート」における『授業の満足度』等の肯定的な評価の割合（平成24年度85%）を平成27年度には90%にする。
 - イ 五つの系列の充実を図るとともに、校外で協働して取り組める学習活動に積極的に参加する。
 - (2) 自らの意見をまとめ、発表して、相手に自分の意思を伝える能力の向上
 - ※生徒の「総合学科アンケート」における『コミュニケーション能力が身についた』（平成24年度76%）を平成27年度には90%にする。
 - (3) 自ら学ぶ意欲・姿勢の定着
 - ア 自主的な学習態度が身につく取組みを行う。
 - ※生徒の「学校教育自己診断」における『自主的な学習時間が2時間以上の生徒』（平成24年度10%）を平成27年度には30%にする。
 - イ 学校行事を通して自主・自立性を育てる。
 - ※生徒の「総合学科アンケート」における『自主性を伸ばすことが出来た』（平成24年度86%）を平成27年度には90%にする。
 - (4) センター試験受験者数の増加
 - ※基礎学力の定着を図り、センター試験受験者（現在65～85名の）を平成28年度には100名超にする。
- 2 安全で安心な学校づくり
 - (1) 人権教育の推進（生徒一人ひとりがそれぞれの個性を尊重しあう集団づくりを行い、人権を尊重する学校づくりを行う）
 - ア 自立支援コースの充実を図り、「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを推進する。
 - イ いじめの早期発見・対応などをはじめとして、生徒一人ひとりの人権を尊重する学校づくりを推進する。
 - (2) 教員の人権意識の高揚
 - ※教員の「学校教育自己診断」における『人権尊重に努めている』（平成24年度80%）を平成27年度には90%にする。
 - (3) 生徒の規範意識の醸成
 - ※生徒の「学校教育自己診断」における『自己管理ができ自己責任で行動できている』（平成24年度63%）を平成27年度には75%にする。
- 3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成
 - (1) キャリア教育の充実
 - ア 「産業社会と人間」「志学」「ホームルーム」の三つを通じてキャリア教育を充実する。
 - ※生徒の「学校教育自己診断」における『進路を考える上で、適切なアドバイスがあった』（2, 3年生）、『将来の進路や生き方について考える機会を与えてくれた』（1年生）を平成28年度には95%にする。
 - (2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加
 - ア 部活動の活性化と入部率のアップを図る。
 - ※全学年トータルの入部率（平成24年度75%）を平成27年度には85%にする。
 - イ 学校行事への満足度を高める。
 - (3) 生徒の対外活動の支援と地域連携
 - ア 本校総合学科の特徴である「堺学」を通じて地域と交流を図る。
 - イ 部活動や授業において、地域へのボランティア活動に積極的に参加する。
- 4 開かれた学校づくりの推進と学校情報の発信
 - (1) ホームページの充実
 - (2) オープンスクールや中学校訪問による学校からの情報発信の充実

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成27年2月実施分]	学校協議会からの意見
<p>※学校教育自己診断アンケートについて、3年次生と全保護者については1月22日に実施、教員は1月23日、1年次生は2月5日、2年次生は2月12日に実施した。</p> <p>【学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業について生徒は80%が難しいと評価し、「授業の教え方を工夫している教員が多い」という評価は88%であった。今後もより多くの教員の授業改善への取組みが必要である。 保護者の「子どもは授業が分かりやすい」といっているの評価は昨年度より8ポイント減の64%であった。これについては、きめ細かい生徒の個々の習熟度チェックを頻繁に行い、授業内容の理解度を確認していく必要がある。 キャリアが伊予については保護者が83%、教員が79%、生徒が85%適切であると高い評価を得ている。学校全体の取組みや生徒への働きかけをさらに強化したい。 選択科目について、保護者の84%、教員の80%が、生徒の興味関心に応じていると評価している。さらに魅力的な選択科目の実施をめざしていきたい。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活に対する意識については生徒の74%が「行くのが楽しい」と自己評価している。また保護者の82%が「子供は学校が楽しい」といっているに肯定的である。今後、より安全で安心な学校づくりの取組みを強化していきたい。 保護者は本校の生徒指導に83%が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」の問いでは、92%と非常に高い自己評価を得ている。真面目な生徒が多く、この状態を次年度も持続していきたい。また、「人権教育・道徳学習の機会と内容」については生徒の85%、保護者の76%、教員の86%が肯定的に捉えている。いじめ、体罰等の人権侵害のない学校を今後も継続していきたい。 <p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年生は86%が総合学科を選んでよかったと評価し、76%が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」と評価し、73%が「コミュニケーション能力が身についた」と評価している。今後、総合学科の特色を活かし社会に貢献する生徒の育成に励みたい。 文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は89%が活発であると評価し、生徒は85%が満足している。 教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は40%と低い数値になった。しかし、これは担任が親身になって相談にのっていることの証だと考えられるが、教育相談室の情報発信が必要である。 教員の「PTA活動への参加している」が44%と低い。次年度は少なくとも教職員が総会や学級委員会等に多数参加するシステムの構築が必要である。 教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については52%と低い数値を示した。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会からのPDCAを徹底的に行い、次年度の課題に向けての対策などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として共有理解を深めていく必要がある。 教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については66%と昨年より13ポイント減した。これについては6月の「学校組織運営に関する指針」の改訂が影響しているように思われる。しかし、今まで以上に運営委員会で協議内容の論点の整理を十分に行い意見交換も行われた結果なのでそのように思われたかもしれない。 	<p>○平成26年度 第1回学校協議会を平成26年7月23日に開催した。議事内容は「今年度の学校経営計画と取組み」「各分掌・学年・委員会より現状報告と今年度の取組み」についてであった。その中で協議委員から「高校の部活動と地域の小中学校の部活動や住民のサークル活動等の連携」についての質問が出され、「課題は多いが地域開放を通じて異年齢交流による『人の育ち』は総合学科のメリットにもなりその良さが発揮され発展につながる」という助言をいただいた。</p> <p>○平成26年度 第2回学校協議会を平成26年12月3日に開催した。前回の「今年度の取組み」について校長と一部分掌からの中間報告を行ったあと、進路指導部から提出された「堺東校生の基礎学力向上について」というテーマで協議を行った。その中で今年度の1年生の基礎学力向上に向けた取組みに関して「学力生活実態調査」の活用方法の改善と教員の徹底した再提出（リトライ）指導が功を奏して学力が向上した事を伝えると、「教材など効果があると思われるもの、活用できるものは積極的に活用されるとよいと思う。また教育のプロが教材のプロに負けないようにオリジナリティを持って味付けをしていけば一層すばらしい取組みになると期待している」という助言をいただいた。これに対しては堺東高校独自の「堺東スタンダードテスト」の実施を今年度より実施していることを申し添えた。</p> <p>キャリアデザインについては「家庭での会話、友人とのコミュニケーション、読書などで『様々な物事を広く学ぶ姿勢』も可能性が無限に広がる若い世代には必要である」という助言もいただいた。</p> <p>○平成26年度 第3回学校協議会を平成27年3月10日に開催した。今回は今年度最後なので、校長より学校経営計画と各学年、分掌、委員会より今年度の取組みの結果報告がなされた。また教頭から学校教育自己診断アンケートの結果について報告がなされた。その中で、本校の確かな学力の育成の（1）授業の充実のための校内研究授業の話に対して、晴美台中学校長より「うちの教員も見学に参加してもよいでしょうか？」という校種を飛び越えた教育に対する前向きなご意見をいただいた。進路に関して協議委員から、「受験生を集めるためには『3年間でこう伸ばす』というように進路指導体制の構築が重要であり、学年ではなく学校全体での体制が必要である」と助言をいただいた。PTA会長からは女子制服のスカート、オーバーブラウス、校章のピンの不具合（危険性）、食堂の利用率等のご意見をいただいたので、今後検討していく予定である。生徒指導に関して、中学校長より「日頃のきめ細かい指導が行き届いている」「生徒が大人を信頼し、先生との信頼関係もしっかりできていると感じた」と卒業式参列の感想を述べた。今後、このような言葉を大切にして、さらに多くいただけるように指導を継続して行く所存である。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
確かな学力の育成	(1) 授業の充実	(1) ア 教員相互の授業公開、管理職の授業観察、研究協議等を通じて授業力を向上させる ・授業公開週間を設け教員相互が授業見学を行う ・教員による研究授業と研究協議を行う ・授業アンケートを検証し、自己分析を行う イ 高大連携やインターンシップを充実させる	・教員の授業見学や研究協議への参加率 95% ・生徒の授業アンケートでの「興味・関心」をもち、「知識や技能が身に付いた」等の満足度 85% ・医療系大学へのインターンシップ参加者 15 名	(1) ア・1/23日に校内研究授業を行い、その後活発な研究協議を実施した。当日は「府立人研 研究集会」と重なり、参加率は 61.6% であった(△) ・前後期アンケートでは「興味・関心」 78.8% 、「知識技能」 80.2% の満足度であった(△) ・校内研究授業協議では新たに「授業自己振り返りシート」を配布して日頃の授業を自ら検証した。次年度もアンケート結果や研修を通して授業内容の研究や改善に取り組みたい(○) イ・医療系大学の高大連携講座に(2年生のみ募集したので) 12 名が参加した。今後も高大の連携を深めていきたい。(○)
	(2) 自らの意見をまとめ、発表して、相手に自分の意思を伝える力の向上	(2) 授業発表会の機会を増やし、自分の考えをまとめ、他者の意見を聞く機会を増やす ・授業の中でプレゼンテーションの機会を増やす ・集会等で自らの考えを発表する機会を増やす ・校外の研究発表等に積極的に参加する	・総合学科アンケートでの「自己表現や他者理解などのコミュニケーション能力が身についた」 80% ・総合学科アンケートでの「自分で考える力や自主性を伸ばすことができた」 90%	(2)・「日本史研究」「時事問題」「保健」等でプレゼンを実施。また英語スピーチを「英会話基礎」で実施した。アンケート結果ではコミュニケーション能力が身についたという回答が 73% であった。また自主性を伸ばせたという回答は 76% であった。次年度も各教科で生徒の自己表現能力を高める授業を更に増やしていきたい(△) ・「看護基礎」を受講する2年生3名が近畿総合学科高等学校研究発表会で看護実習についてプレゼンを行った。また地学部生徒がデザイン・クリエイティブセンター神戸で8年間観察を続けてきた「酸性雨」について研究発表した。(◎)
	(3) 自ら学ぶ意欲・姿勢の定着	(3) ア 補習・講習を充実させる ・学年や教科が主体となり、補習・講習を行う イ 学力向上のために様々な学習行事に自ら参加する姿勢を育てる ・「進学合宿」「勉強合宿」を実施する ・自習室の活用を促進する	・進学合宿への参加者 80 名	(3) ア・昨年3/18より2泊3日で1,2年生の「勉強合宿」を新たに実施し、 48 名が参加した。また、8/2より3年次生の「進学合宿」を実施したが、宿舎の確保できる部屋数の都合(30 名程度の募集となった)で宿泊人数が制限された為に 24 名の参加に止まった。次年度は参加者の倍増をめざしたい(△) ・アンケートで「学習にがんばってきた」という生徒は1年 55% 、2年 77% 、3年 82% で、年度が増すほど頑張っているという結果がでた。家庭学習においては2時間以上が1年 20% 、2年 29% 、3年 4 月頃で 40% 、夏休みで 72% 、1月頃で 50% という結果が出ており昨年度より数値は各学年上昇している。(○) ・昨年度、設備の充実を図った自習室は、ほぼ毎日多数の生徒の活用がある。次年度はその活用者数を更に伸ばしたい。(○)
	(4) センター試験受験者数の増加	(4) 講習等で「学力生活実態調査」の充実を図り、国・数・英の基礎学力を定着させる	・生徒向け「学校教育自己診断」の『学習にがんばってきた』 60% ・各「合宿」の参加者 80 名 ・センター受験者 90 名	(4)・今年度より「学力生活実態調査」の活用方法を改善し、教員団の徹底した再提出(リトライ)指導を行なった。それが功を奏して平均G T ZがB2に伸びた教科が増加した(◎) ・センター試験説明会では 120 名を超える参加者であったが、担任との面談後、最終的には 72 名が出願した(△)
安全で安心な学校づくり	(1) 人権教育の推進	(1) ア 「自立支援コース」生徒と一般生徒の授業交流の機会を増やす ・支援学校との交流会を充実させる	・「自立支援コース」生徒と一般選抜生徒の授業交流の機会の増加 ・夏の支援学校との交流会への参加者 50 名	(1) ア・昨年に引き続き芸術、社会、福祉、保健、HRの授業で交流を行った。今年度はマルチメディアの授業で一般選抜生徒と共に作品を仕上げた。(○) ・夏の堺支援学校との交流会では生徒 56 名が参加した。今後も生徒会が中心となり、生徒の自主性を尊重した人権教育を推進したい(◎)
	(2) 教員の人権意識の高揚	(2) ア 教員の人権研修を充実させる イ 支援教育サポート校として他校を支援する ウ 教育相談体制を充実させる	・教員向け「学校教育自己診断」の人権教育関連の項目での校内研修・参画度等の肯定率 85%	(2) ア・校内人権研修を2回実施した。7/24(スマートホン関係)参加率 68% 、12/10(発達障がいのある生徒への支援)参加率 79% 。両研修ともに講演後に活発な研究協議がなされた。教員向けアンケートでの校内研修・参画度等の肯定率は 83.1% と高い評価を得、ほぼ目標を達成した。次年度も教員の関心の高いテーマを選び、人権意識の高揚を図る予定である。(○) イ・支援教育サポート校として講師派遣が 12 回、関係会議への参加が 17 回、他校からの相談関係が 27 件あり、積極的に支援を行った(◎) ウ・月に平均2回来校されるスクールカウンセラーによる相談が 5 件、臨床心理士の教諭による相談が 31 件あり体制的には充実している。(○)
	(3) 生徒の規範意識の醸成	(3) 安全で安心な学習環境をつくる ・校外巡視を行い交通ルールを遵守させる ・校内での挨拶運動を奨励する	・生徒向け「学校教育自己診断」の『生活指導上のルールを守っている』 90%	(3)・年間3回に渡り一定期間全教員で、また毎日教員4名の当番制で通学マナー、服装、頭髮の指導を徹底した。生徒向けアンケートで『生活指導上のルールを守っている』と答えた生徒は全体の 92% であった。今後も生徒の規範意識の向上に努めたい(○) ・生徒会執行部の生徒たちがほぼ毎週水曜日に正門に立って自主的に挨拶運動を行った(○)

府立堺東高等学校

<p>夢と希望をもち、夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成</p>	<p>(1) キャリア教育の充実</p> <p>(2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加</p> <p>(3) 生徒の対外活動の支援と地域連携</p>	<p>(1) ア 「キャリア教育」を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の進路実現に向け「産業社会と人間」「志学」「LHR」の有機的な連携を図る 「志学」において大学や専門学校への説明会等への積極的な参加を図る <p>イ 保育所、病院、老人施設へのインターンシップの充実を図り専門科目への理解を深める</p> <p>(2) ア 体罰のない部活動指導を行い、生徒との信頼関係が成立した指導の充実に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動の入部率を上げる 地域の中学校との部活動交流を積極的に行う <p>イ 「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」等、生徒が自主運営する学校行事を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動や各種学級委員会活動を活性化させる <p>(3) ア 支援学校や地元の小中学校との交流を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> 「堺学」の授業において、中学校の「堺学」への取り組みを支援する <p>イ 堺市や地域のイベントに参加するなどボランティア活動を行う生徒を増やす</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「キャリア教育」に係るアンケートの満足度 90% 「大学訪問レポート」100%提出 保育所、病院、老人ホームへのインターンシップ参加者数のべ50名 全学年トータルの部活動入部率 80% 「近畿大会」以上へ出場する部活動の増加 「体育祭」「文化祭」に係るアンケートの満足度 80% 各種委員会主催の企画提案の増加 堺支援学校との交流会参加者 50名 「堺学」での授業発表機会の増加 ボランティア活動への参加者数のべ 80名 	<p>(1) ア・3年生の前期には、生徒の進路実現に向けて「就職と人権」というテーマで企業について学ぶなど、各学年において「産社」「志学」「HR」が連携して「キャリア教育」に取り組んだ(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年生が6/20に、1年生が10/10に大学や専門学校への見学会を実施した。レポート提出率は2年生96%、1年生98%であった。また1年生の「探究入門」の大学のオープンキャンパスに参加するという夏休みの「探究課題」に対して98%の生徒が参加し全員がレポートを提出した。(○) イ・保育所2名、病院26名(集中講座13名、一日看護師体験に9名、ふれあい病院体験4名)・老人ホーム13名、計41名の生徒がインターンシップに参加した(○) <p>(2) ア・「安全で安心な学校生活アンケート」を7月と11月に実施し、今年度も「いじめ・体罰」が無いことを確認をした(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動の加入率は76%であった。次年度も80%の入部率をめざす(△) 女子バスケットボール部が今年度も近畿大会に出場。12月に近隣中学の女子バスケ部を対象に本校主催の「ドルフィンカップ」を開催して積極的な交流を行った。また今年度はサッカー部も「堺東カップ」を実施した(○) イ・「体育祭」「文化祭」の満足度は全体で83%、86%と今年も高い。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていきたい(◎) 保健や図書各委員会が活発な活動を行い、「図書新聞(パピルス)」や「保健だより」を発行した(○) <p>(3) ア・冬の堺支援学校との全体交流会は全校生徒が参加した。その後、1年生がクラス交流会を行った。また、はるみ小学校とは「福祉基礎」「社会福祉援助技術」の授業で車椅子体験、紙芝居等を行い交流した(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「堺学」受講生が堺市博物館や山口県市民会館で研究発表を行った。今後も活発な活動を続け「堺学」を更に発展させたい(○) 堺大魚夜市、敬老会、堺観光ボランティア、緑のつどい、クリーンキャンペーン、障がい者バスケ指導等に合計125名がボランティア参加し、堺市や地域から好評を得た(◎)
<p>開かれた学校づくりの推進と学校情報の発信</p>	<p>(1) ホームページの充実を図る</p> <p>(2) オープンスクールや中学校訪問による学校からの情報発信の充実</p>	<p>(1) ホームページを頻繁に更新し、学校情報を積極的に発信して在校生、中学生やその保護者の関心を惹くものにする</p> <p>(2) ア 在校生が中心となり、オープンスクールを実施する</p> <p>イ 中学校からの要請による「学校説明会」等に積極的に出席し、緊密な中高連携を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームページへの年間アクセス数を65,000件以上 2回のオープンスクール参加生徒・保護者を計900名 中学校等からの「学校説明会」の依頼15件 	<p>(1) ・1年間で76,000件余りのアクセスがあり1日当たり約210件。地域向け、校内向けともに活用度が高い。HPは今後も常に更新していきたい(◎)</p> <p>(2) ア・2回のオープンスクールを合わせると、中学生812名、保護者等223名、計1035名が参加したことになり、昨年度より148名増加した。中学生からは「分かりやすかった」「大体分かった」が94%、「進路の参考になった」が86.5%というアンケート回答を得た(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> イ・学校説明会の依頼は中学6校、市町等から6件、塾等から3件あり、合計15件全てに参加した。次年度も積極的に情報発信していきたい(○)